

《會議次第》

令和6年度 特別史跡「名護屋城跡並陣跡」保存整備委員会

○日時：令和6年8月22日（木） 10：00～15：00

○場所：佐賀県立名護屋城博物館

○會議次第：

1 開会 10：00

2 現地視察 10：15～12：10

○令和6年度 整備工事実施予定箇所

・ 名護屋城跡 上山里丸草庵茶室跡（修景整備）

○令和6年度 発掘調査実施予定箇所

・ 名護屋城跡 弾正丸（石垣修理）

・ " 弾正丸下（帯曲輪）

・ " 水手通路

○令和6年度以降 発掘調査・整備工事実施箇所

・ 前田利家陣跡

【一 昼 食 一 12：10～13：10】

3 検討協議 13：10～14：55

4 閉会 15：00

第1回環境整備専門部会 会議資料

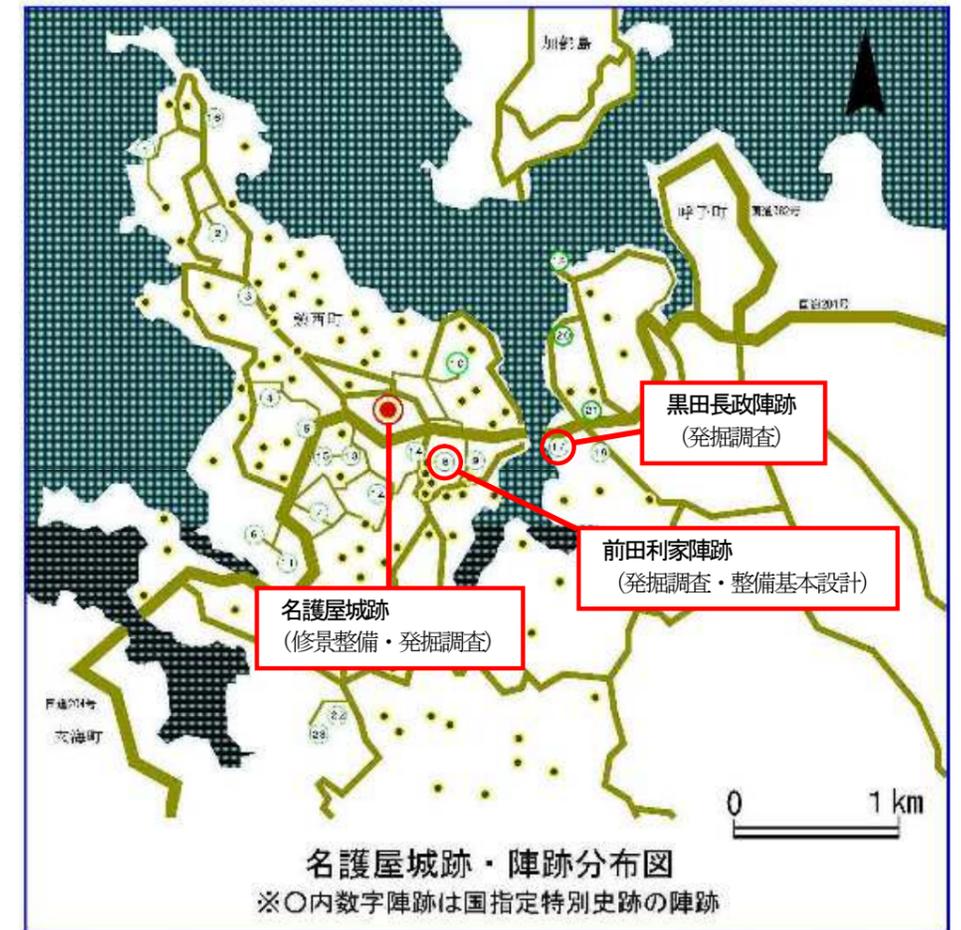
佐賀県立名護屋城博物館

名護屋城跡並陣跡保存整備事業について

名護屋城跡並陣跡保存整備事業は、文化庁および保存整備委員会の指導・助言を受けながら、昭和60年に策定した「名護屋城跡並びに陣跡保存整備計画」に基づいて、昭和62年から第1期計画（～平成4年）に着手した。同期計画内では崩壊寸前の石垣修理を中心とし、続く第2期計画（平成5～14年）では、城内見学対象箇所危険石垣の修理を開始するとともに、城内および城下町全域において必要最小規模での発掘調査による基礎的資料の収集を目的とした予備調査を実施してきた。その結果、本丸御殿跡や草庵茶室跡、出島跡などといった、豊臣秀吉が直接使用した全国で唯一の遺構が続出するなどの成果をあげ、そのつど県内はもとより全国からの注目を浴びた。さらに第3期計画（平成15～24年）では、これまでに城内で発見された数々の遺構を安定化させたうえで修景・表示し、園路等の整備を行い、来訪者に常時公開することを主目的とした整備事業を進め、これまでに天守台、本丸多聞櫓跡、本丸旧石垣、三ノ丸井戸跡などの整備工事を行っている。

一方、名護屋城跡の周辺には、諸大名陣跡が150箇所以上分布しており、これまでに23陣跡が特別史跡の指定を受け、うち4陣跡での環境整備が終了している。また発掘調査では、第2期計画で徳川家康（別陣）、前田利家、また第3期計画では地元佐賀の鍋島直茂の陣跡について、将来の整備に向けた発掘調査を実施した。次の第4期計画（平成25～令和4年）では、第3期から続く本丸御殿跡の整備が完了し、上山里丸草庵茶室跡の整備事業に着手した。草庵茶室跡では、発掘調査成果に基づく遺構平面表示などを行った。発掘調査は、船手口周辺や太閤井戸、弾正丸下など、城域縁辺部を対象とした。陣跡では、歴史上の重要人物や九州にゆかりの深い大名陣跡を優先し、徳川家康（本陣）、島津義弘陣跡の調査を実施した。

このように「名護屋城跡並陣跡」は、国内最大級の桃山時代の遺跡であるうえ、遺構の残存状況が良好で極めて高い稀少価値を持つため、今後も調査・整備を行っていく必要がある。令和5年度からの第5期計画（～令和14年度）では、上山里丸草庵茶室跡など重要遺構の整備公開を継続する。また、城域縁辺部の予備調査を継続することで遺跡の全体像を把握し、保存のための具体的方策を検討する。陣跡では、第4期計画から引き続き歴史上重要な大名を優先し、黒田長政、前田利家陣跡などの発掘調査、整備を実施する予定である。



●令和6年度事業について

史跡整備では名護屋城跡の上山里丸草庵茶室跡の修景整備を行う。また、整備報告書作成に向けた整理作業は、名護屋城跡二ノ丸・三ノ丸について行う。発掘調査では、名護屋城跡（弾正丸石垣・水手通路・弾正丸下）、黒田長政陣跡、前田利家陣跡の調査を実施する。発掘調査報告書刊行に向けた整理作業は、島津義弘陣跡について行う。

●令和6年度名護屋城跡並陣跡保存整備事業スケジュール

事業内容		主な費用区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
名護屋城跡	◎上山里丸草庵茶室跡修景整備工事	委託費・工事費				←								→	説明板設置
	◎発掘調査	報酬・社会保険		←		→					←			→	発掘作業員任用
	◎報告書作成作業	報酬・社会保険・委託	←												二ノ丸・三ノ丸整備報告書
黒田長政陣跡	◎発掘調査	報酬・社会保険							←		→				発掘作業員任用
前田利家陣跡	◎発掘調査・整備基本設計	報酬・社会保険・委託					←							→	発掘作業員任用
島津義弘陣跡	◎報告書作成作業	報酬・社会保険・委託	←												令和7年度刊行予定

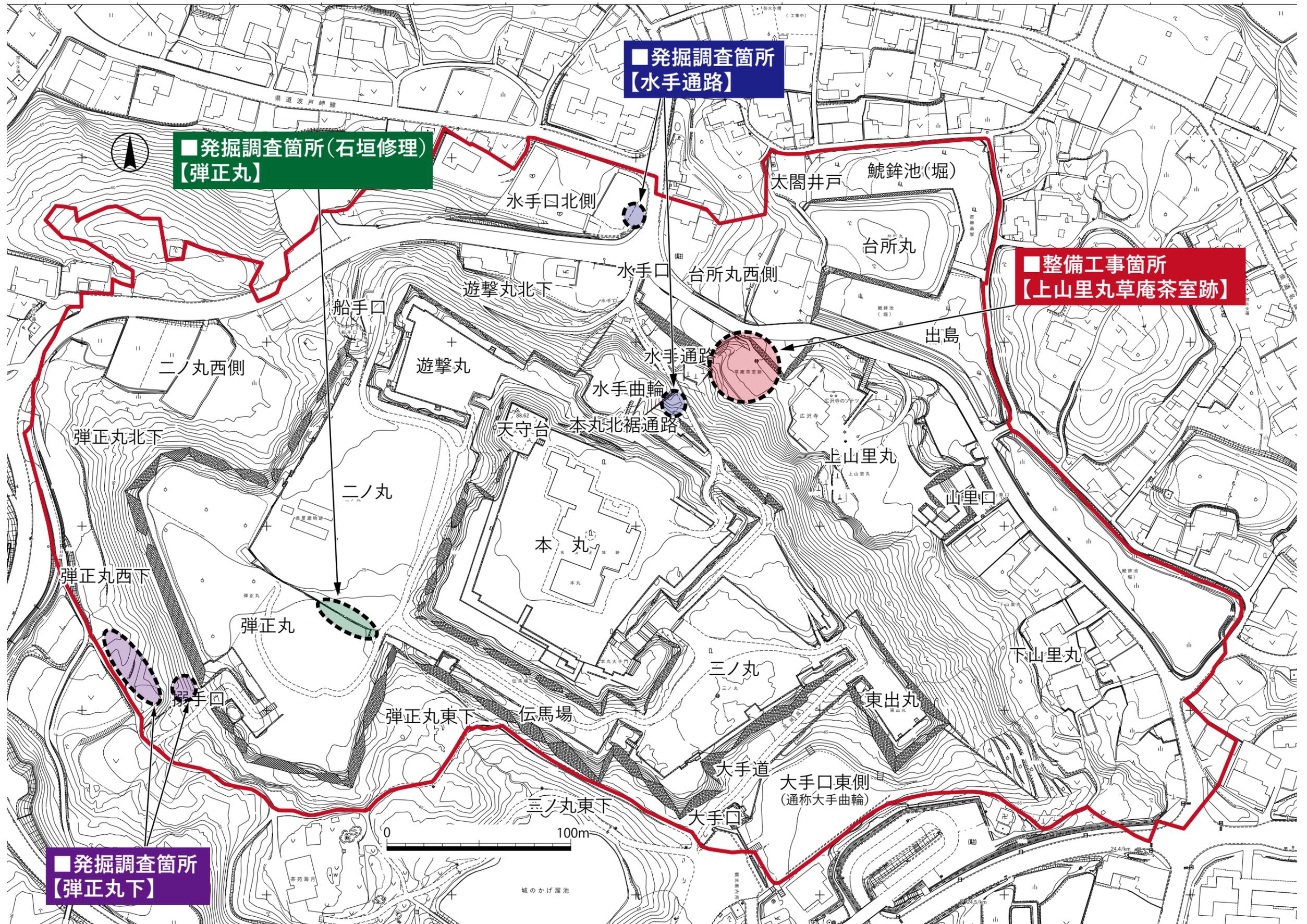
【名護屋城跡並陣跡保存整備事業第5期計画】

第4期保存整備計画 (平成25～令和4年度)

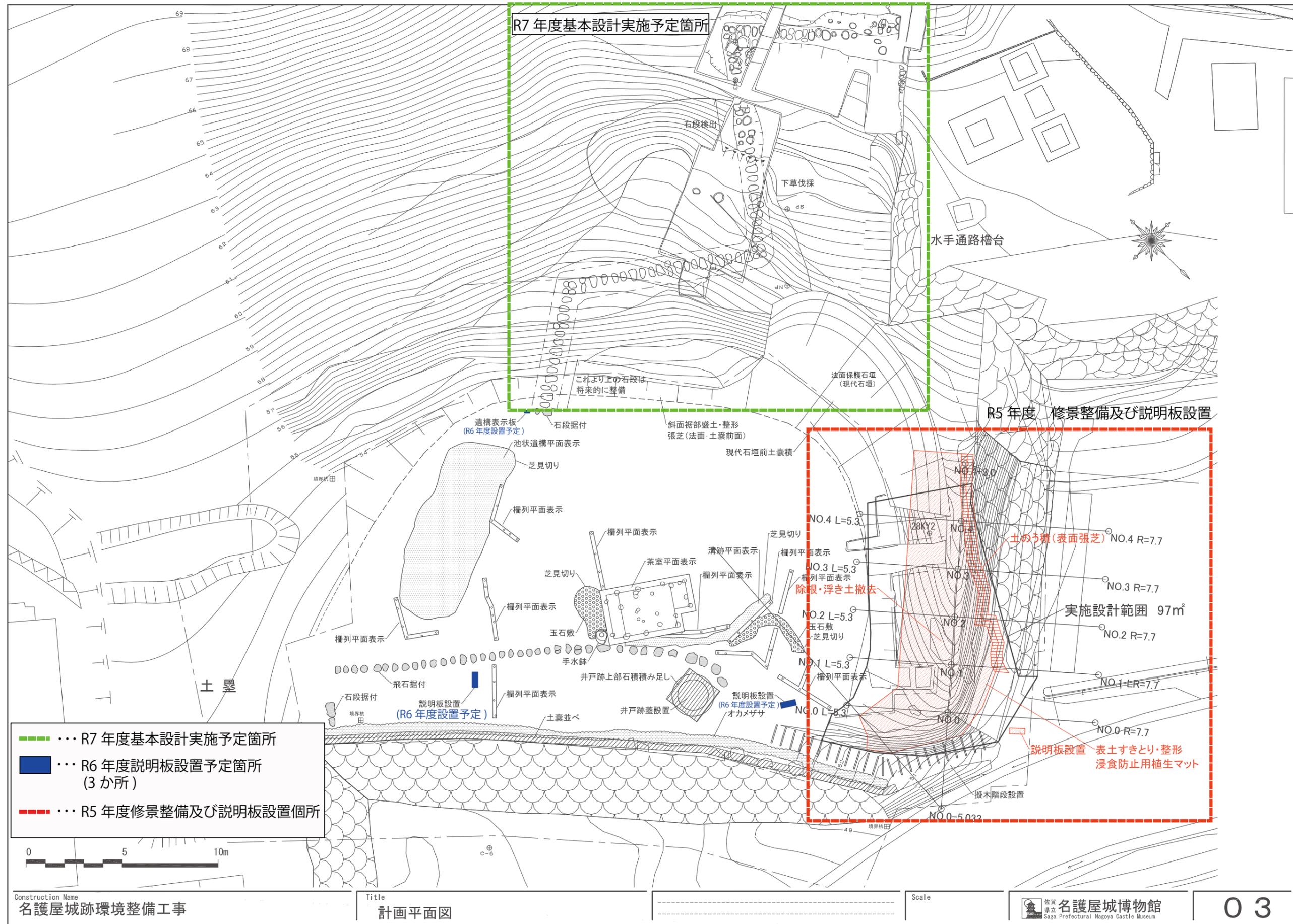
第5期保存整備計画(令和5～14年度)

年 度		25	26	27	28	29	30	31・元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
発掘調査	本城跡	船手口周辺 遊撃丸下		山里丸下	太閤井戸	→ 弾正丸周辺						→ 弾正丸周辺 水手通路						→ 船手口西斜面		→ 遊撃丸北下 水手口東側		→ 山里丸斜面地	
	陣跡 (重要陣跡)	徳川家康本陣				→						→ 黒田長政						→ 生駒親正					
	太閤道 城下町ほか	← 太閤道、城下町、石採り場、関連施設、陣跡悉皆調査										← 太閤道、城下町、石採り場、関連施設、陣跡悉皆調査											
	報告書	← (発掘調査報告書作成)										← (発掘調査報告書作成)											
	事業費 (千円)	10,946	11,108	9,620	11,762	10,204	9,330	7,942	10,116	9,806	6,802	8,134	8,638										
保存整備	本城跡	本丸御殿跡		草庵茶室跡		(完了)						→ 水手曲輪・本丸北裾・水手通路等											
	本城跡	本丸北裾			(危険箇所)の把握・緊急修理						→ 弾正丸石垣						→ 三ノ丸内面石垣		→ 水出通路・本丸北側石垣				
	陣跡	(危険箇所)の把握・緊急修理						(危険箇所)の把握・緊急修理						→ 前田利家						→ 古田織部			
	報告書	← (保存修理報告書作成)										← (保存修理報告書作成)											
	事業費 (千円)	19,736	20,260	13,468	16,994	15,026	15,834	15,221	13,096	17,494	18,800	18,818	14,091										
事業費 (千円)	30,682	31,368	23,088	28,756	25,230	25,164	23,163	23,212	27,300	25,602	26,952	22,729											

※令和6年度の事業費は、文化庁国庫補助金の事業費認承額。



【名護屋城跡】令和6年度整備工事・発掘調査実施箇所位置図





植生マット施工状況(北西をみる)



説明版設置状況



植生マット施工状況(北東をみる)



植生マット施工状況(南西をみる)



Construction Name
名護屋城跡環境整備工事

Title
計画平面図

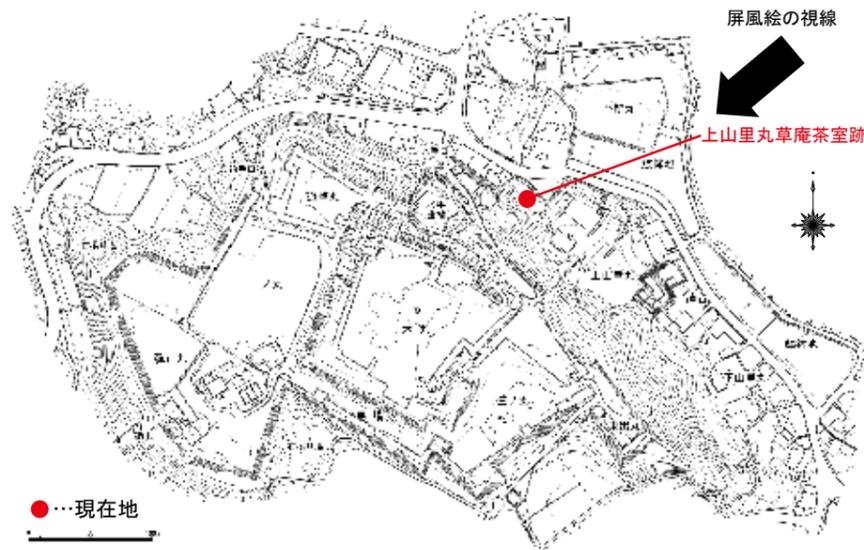
Scale

佐賀県立 名護屋城博物館
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

03

名護屋城跡

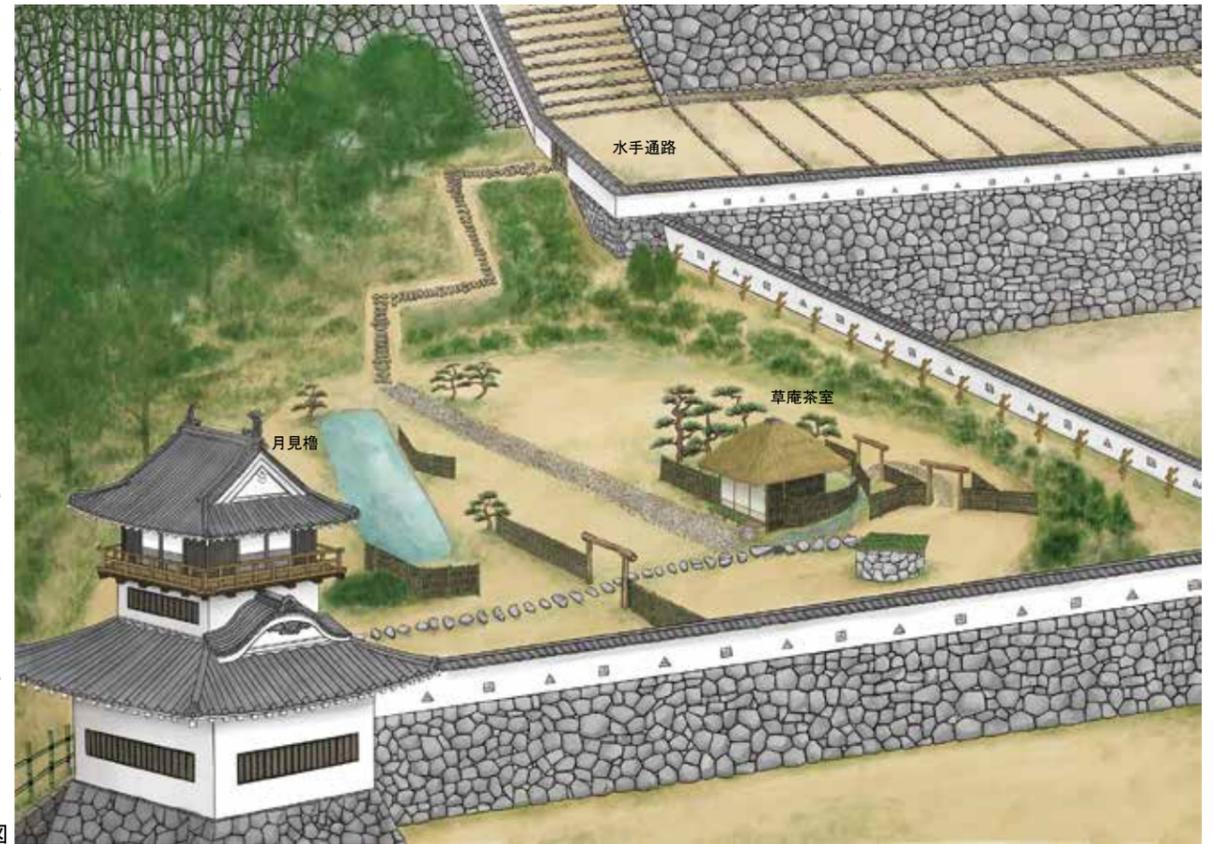
かみやまざとまるそうあんちゃしつあと 上山里丸草庵茶室跡



■山里丸と草庵茶室

山里丸は本丸の北東に設けられた鯨銚池に面する曲輪で、山里口を挟み西側の一段高い上山里丸と東側の下山里丸からなります。『肥前名護屋城図屏風』には、御殿や能舞台が描かれ、秀吉の私的な空間と考えられています。上山里丸の北西部からは茶室跡が発掘され、博多の豪商 神屋宗湛が記した『宗湛日記』からは、竹や柴を使った4畳半の草庵茶室であり、「黄金の茶室」と異なる私的な茶室だったと想定されます。

上山里丸小曲輪復元想定鳥瞰図



■上山里丸草庵茶室跡の保存整備

発掘調査後には盛土による遺構の保護を図り、地形復元や遺構平面表示、説明板設置等の修景整備を実施しました。

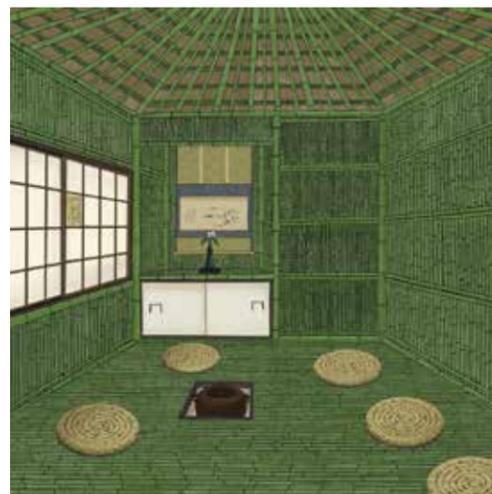


■草庵茶室と月見櫓

『肥前名護屋城図屏風』には望楼型の月見櫓が描かれています。『宗湛日記』には茶会の際に月見櫓を待合にしたとみられる記述があります。月見櫓と茶室跡の間からは飛石列と石段を発掘しており、月見櫓と草庵茶室は路地でつながっていたと考えられます。



『肥前名護屋城図屏風』
(名護屋城上山里丸月見櫓部分)
佐賀県立名護屋城博物館蔵



上山里丸草庵茶室復元想定図 内観

『宗湛日記』より一部抜粋
十一月十七日朝ナコヤニテ
太閤様二御会
山里ノ御座敷ヒラキナリ
(中略)
御座敷四帖半
柱モ其外ミナ竹ナリ
四尺五寸ノ床
ソノ下二道籠(戸棚)アリ
二枚障子
大ヘラノ方(建物の長い方)
ミナマドニシテ
腰ニ大竹ヲ横ニ一ツワタシテ候
外ハ柴垣也、
サイエン(細縁)アリ
手水石縁ヨリツカイ候ヤウニ
上にヘキメ板置テ
イロリ真フチ

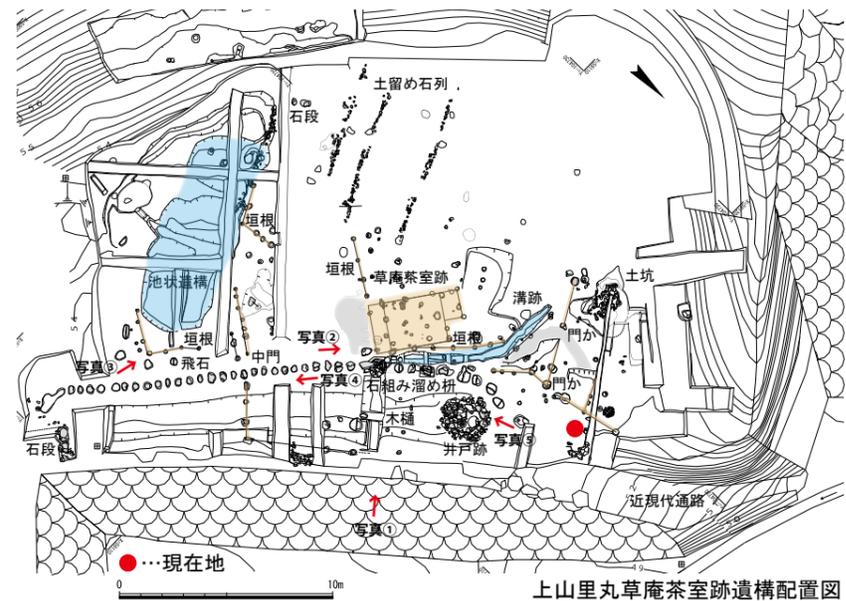


上山里丸草庵茶室復元想定図 外観

名護屋城跡

かみやまざとまるそうあんちゃしつあと

上山里丸草庵茶室跡



■草庵茶室跡の発掘調査

上山里丸北西部で発見された茶室跡の発掘調査は、平成9年度から10年度（1997～98）に実施されました。名護屋城での「茶の湯」文化が窺える重要な遺構です。

■上山里丸小曲輪

上山里丸小曲輪は山里丸居館部（現広沢寺）から北西側に張り出すように配置しています。北東面高さ約6m、北西面高さ5m弱で築かれています。南西面は斜面地で秀吉居館部との間に尾根が伸びます。



写真① 上山里丸草庵茶室跡発掘調査状況（北東から）

■草庵茶室跡と周囲の遺構

茶室跡は地面に穴を掘り柱を立てる掘立柱構造で、広さは4畳半程です。柱穴は小さく浅く、床や縁の並びも確認できました。周囲には井戸跡、石組み溜枡、木樋跡、溝など水関連遺構も発見されています。



写真② 上山里丸草庵茶室跡との遺構周囲（東から）



写真③ 石段、玉石、飛石、垣根跡、池状遺構（東から）



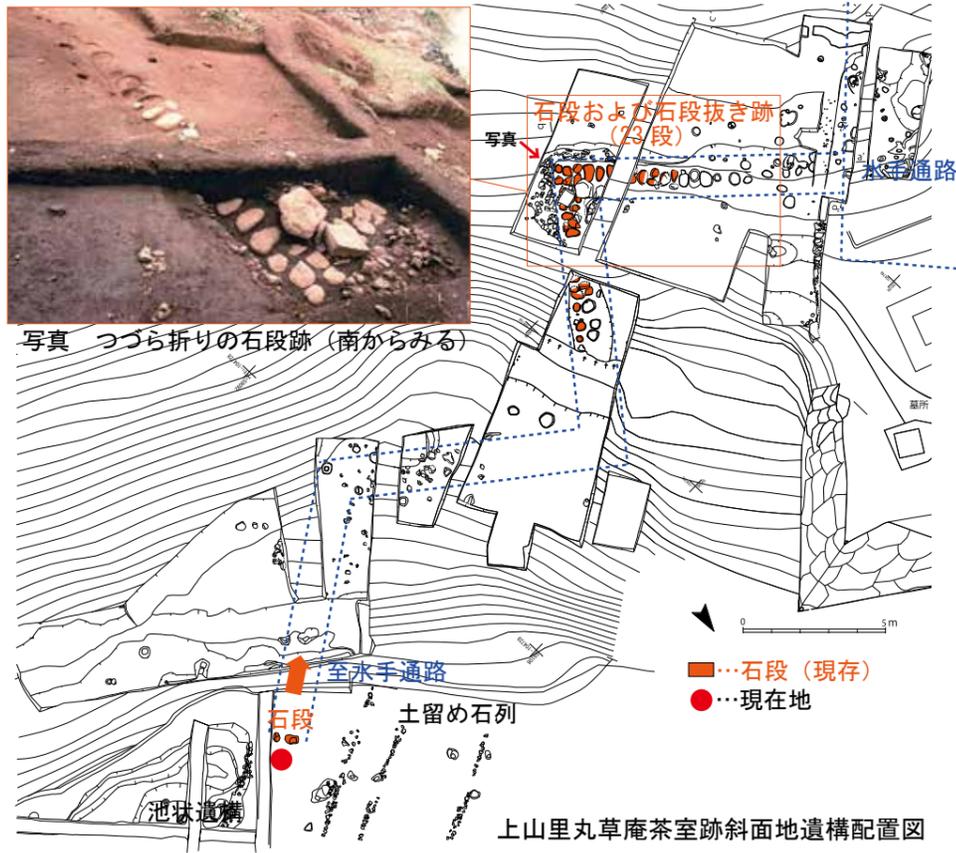
写真④ 飛石列と石段（北西から） 写真⑤ 井戸跡と飛石抜き取り痕（北西から）

■草庵茶室跡と周辺をつなぐ遺構①

発掘調査では、南西斜面地足元の石段から茶室前まで敷かれる玉石敷や山里丸居館部が位置する南東方向から井戸跡まで直線的に延びる飛石を確認しました。

飛石列上には中門、脇には垣根を配置し、茶室へ至る路地空間を構成していました。また、山里丸居館部に向かう飛石列の先で石段も見つっています。なお、曲輪北隅部の通路は、近現代に造られたものです。

水手通路につながる路地



肥前名護屋城図屏風（上山里丸草庵茶室周辺部分） 佐賀県立名護屋城博物館蔵

■草庵茶室跡と周辺をつなぐ遺構②

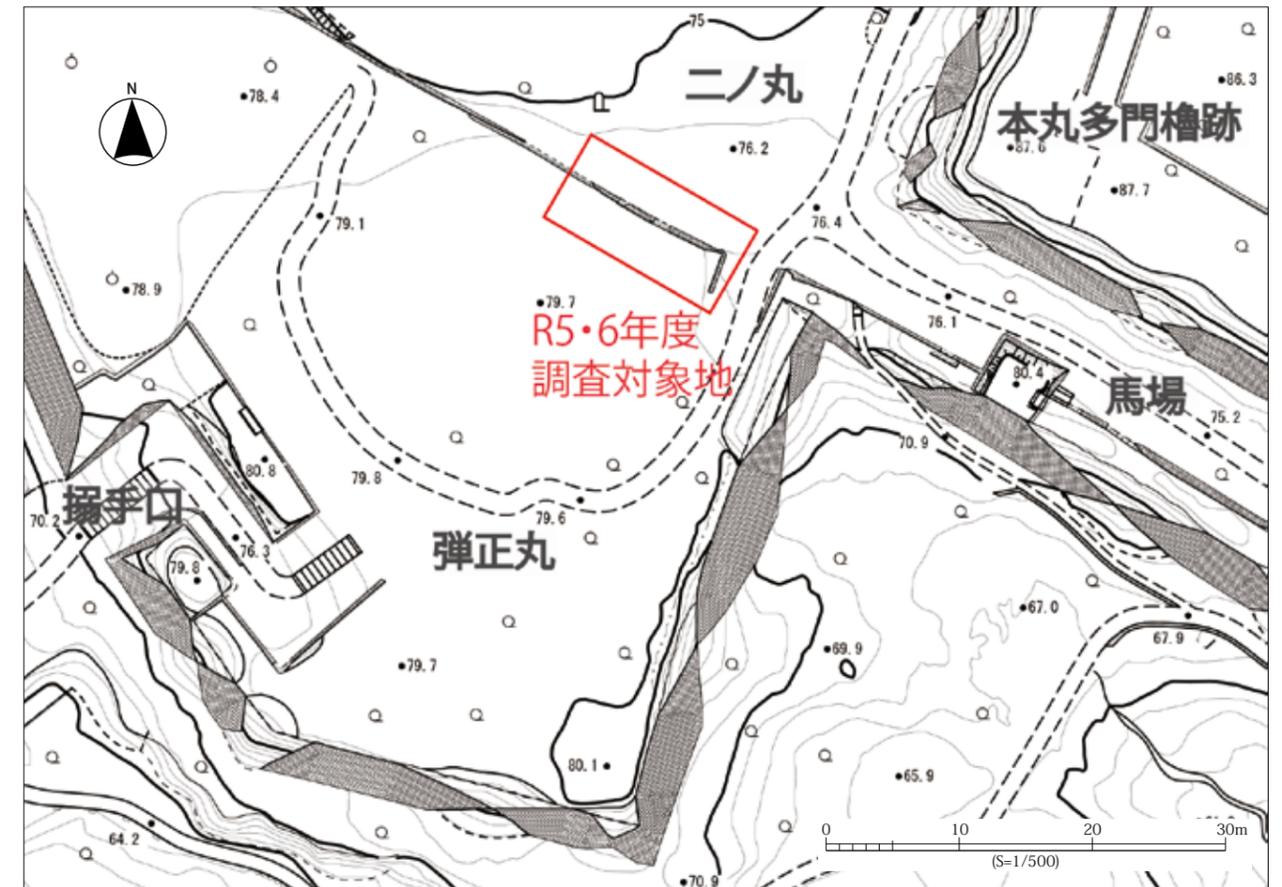
上山里丸と水手通路は路地につながり、上山里丸側の路地の始まりがこの石段です。石段は斜面にも配置され、つづら折りとなり水手通路の方へ延びていました。『肥前名護屋城図屏風』には黒塗りの小門（潜り戸）の描写があり、水手通路との境界には小門があったと考えられます。

南西斜面石段設置説明板

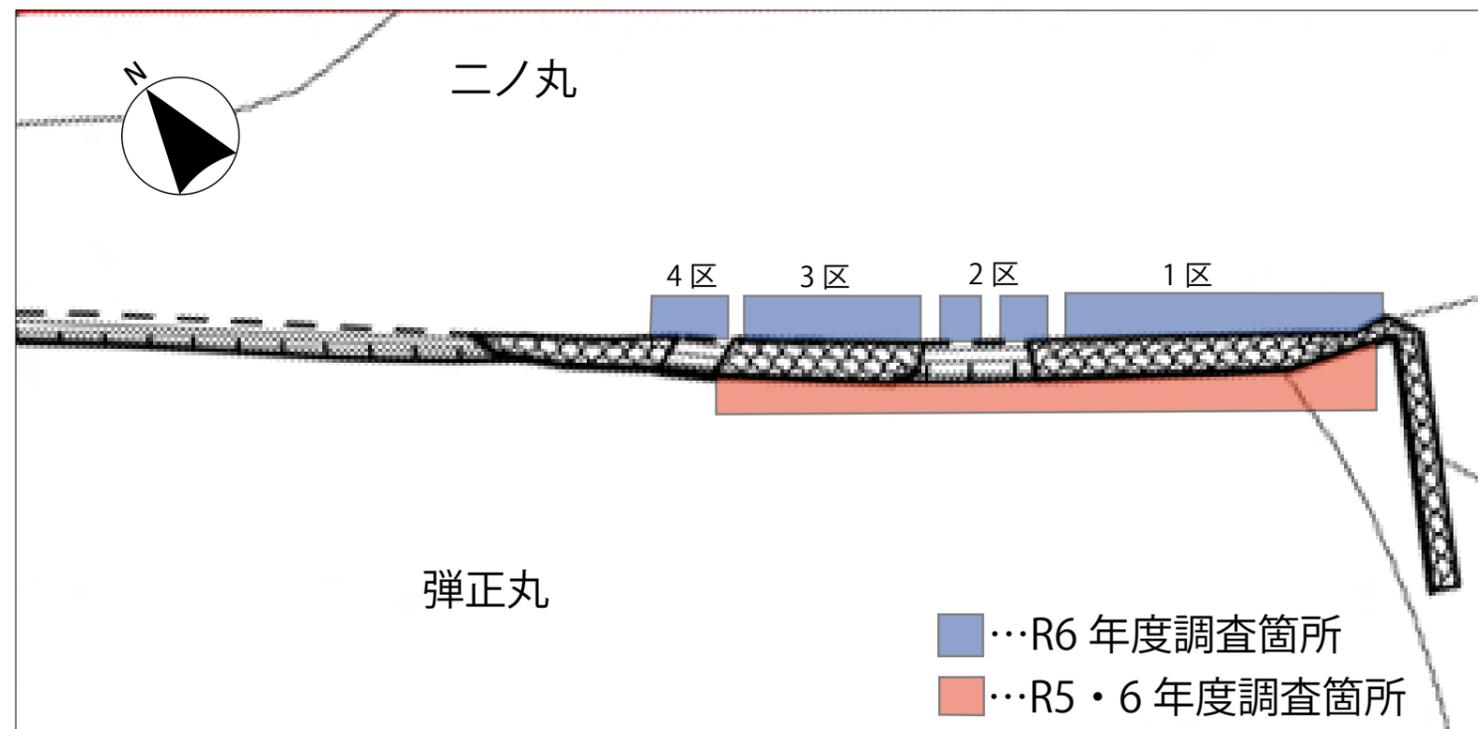
弾正丸(238面)石垣修理【発掘調査】

年度	内容
R5~R6	<ul style="list-style-type: none"> 石垣上・下段の発掘調査 解体範囲の検討・承認
R7	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計、実施設計
R8	<ul style="list-style-type: none"> 石垣解体
R9	<ul style="list-style-type: none"> 石垣積み直し

R6年度以降の計画



R5・6年度石垣修理に伴う発掘調査対象地(1/500)

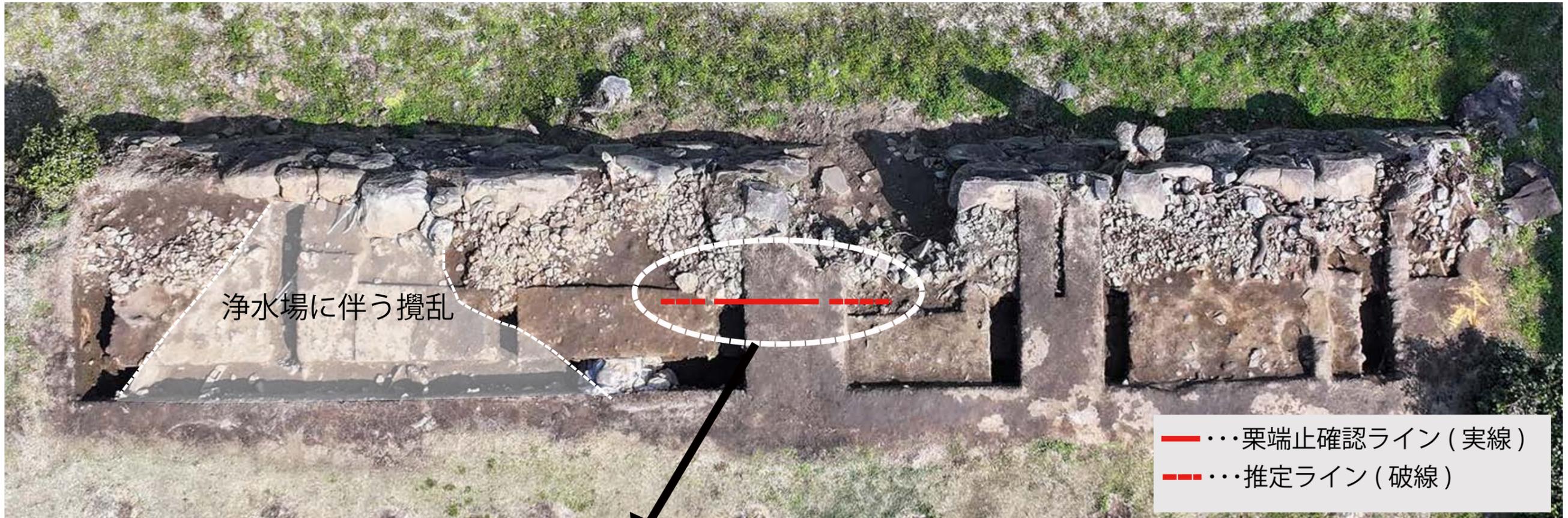


R5・R6 調査区配置図(1/80) 0 2m (S=1/80)



石垣上段空撮(R6.3月撮影)

・弾正丸上段の調査(令和5年度～令和6年度に実施)



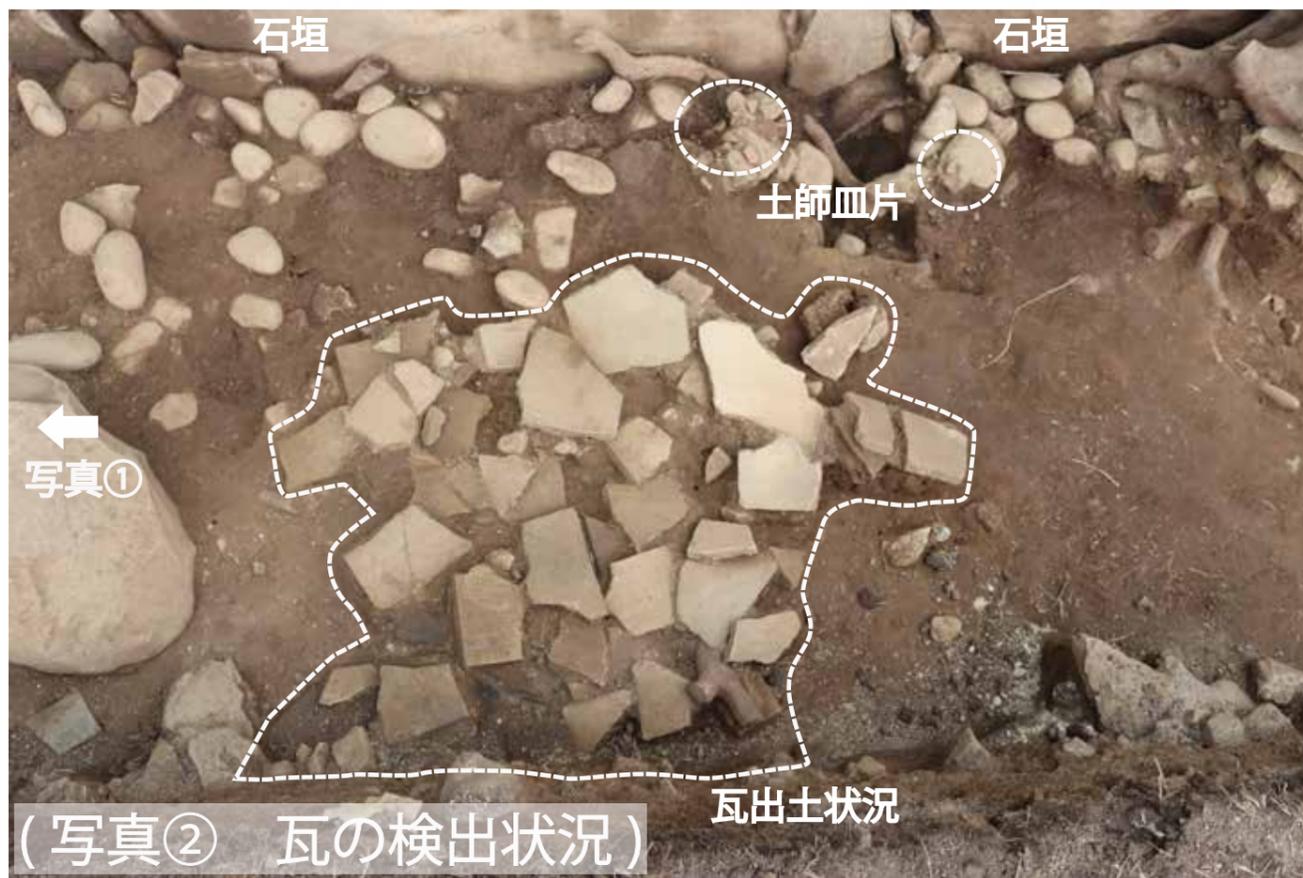
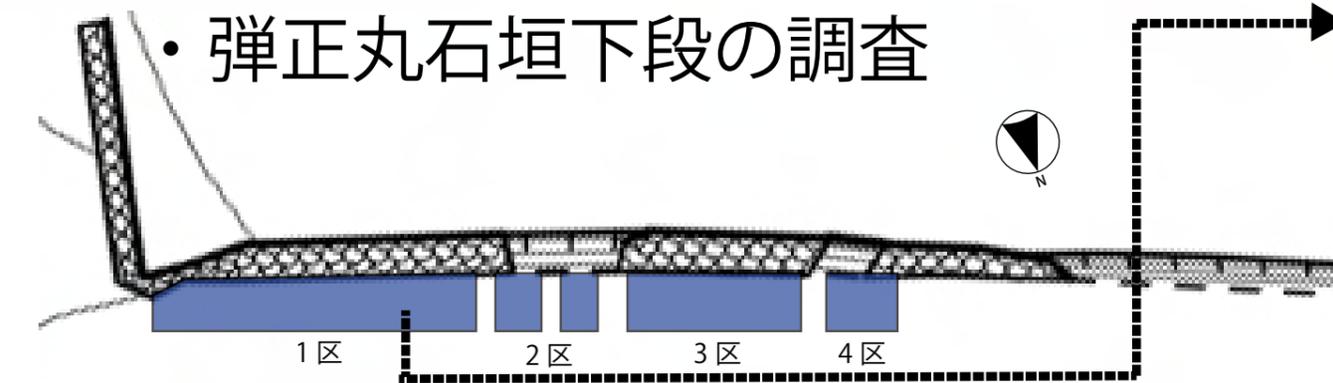
— 栗端止確認ライン(実線)
 - - - 推定ライン(破線)



栗端止検出状況(白破線の部分まで残存)

・石垣上段の調査について
 R5年度に検出した裏栗石層と盛土層の境目にある栗端止は、今年度調査を行った箇所で一部良好な状態で残っていることが分かった。
 調査区全体では、建物跡などの遺構については後世の掘削により削平されていると考えられる。しかし、石垣下段の調査で瓦が出土していることから瓦葺の建物があったことが想定できる。

・弾正丸石垣下段の調査

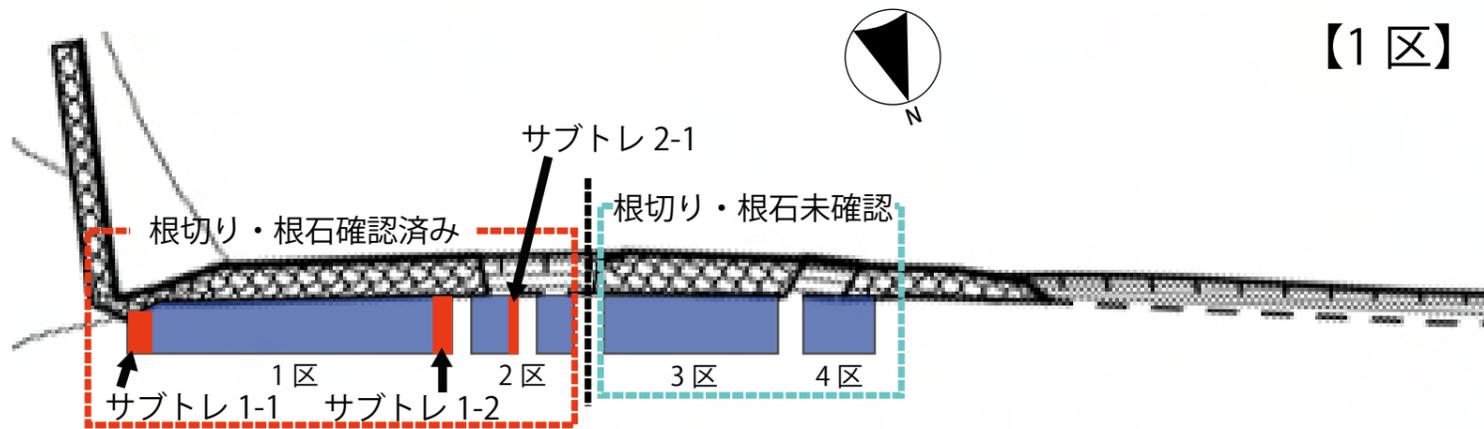


・1区の調査状況について

1区では、当該期の面と思われる硬化面を確認した。また、硬化面上層では、瓦の堆積層と破却に伴う石垣石材の堆積が確認できたため今回出土した瓦は、破却時の建物解体に伴う瓦と考えられる。

瓦の出土状況を観察すると瓦片は同一個体と思われる物が集中しており、瓦の大きさ等の復元が可能となる資料である。





【1区】

・調査区1・2区での根切り遺構・根石について
【サブトレ 1-1・1-2】



サブトレ 1-1(奥の石は根石)



出土遺物(瓦片・陶磁器片等)は、当該期の硬化面より上層から出土している。当該期の硬化面より下層(太い白線)では瓦・陶磁器の出土は確認できないため当該期の造成土であると考えられる。当該期の造成土の下で根切り遺構を確認した。

【2区 サブトレ 2-1】



- ①近・現代の層
- ②浄水場に伴う水路の埋土
- ③水路埋設時の攪乱か
- ④破却に伴う堆積か
- ⑤当該期の造成土か
- ⑥基盤層

サブトレ 2-1 土層写真



サブトレ 1-1(上から)



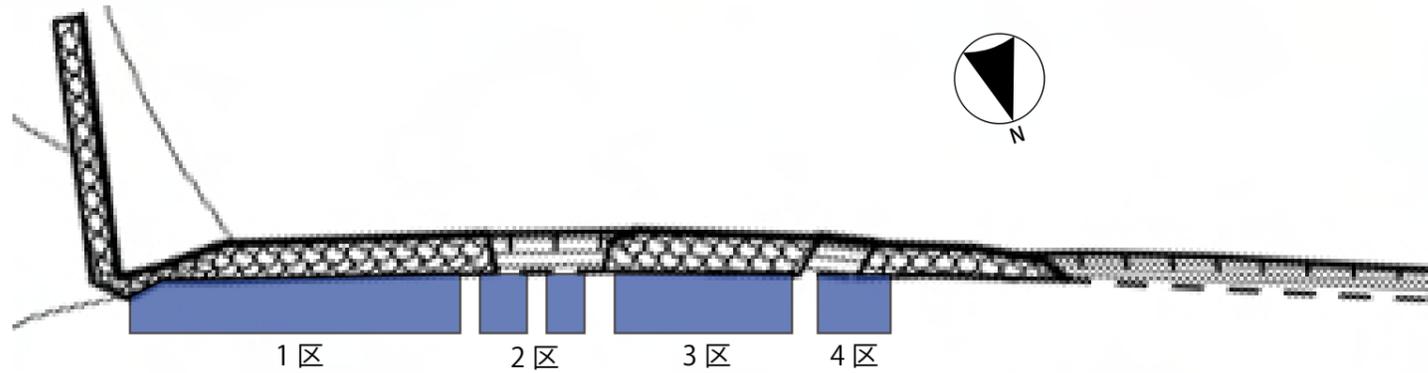
サブトレ 1-2



サブトレ 1-2



調査区 2区(上から)



調査区3区 全景 北から



調査区3区 写真①(北東から)



調査区3区 写真②(北東から)



調査区3区 写真③(北東から)

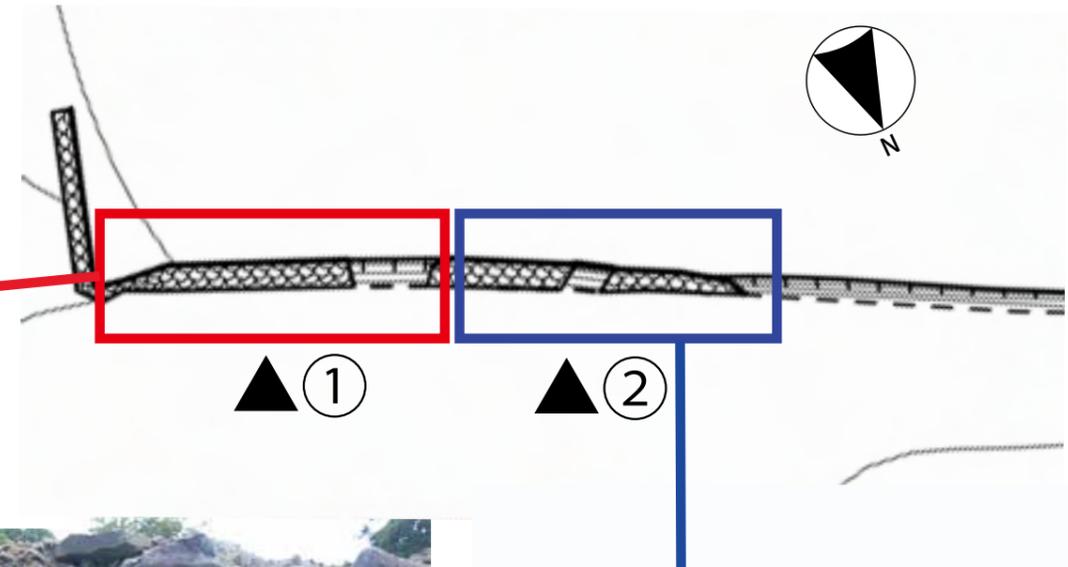


調査区3区 写真④(北東から)



調査区4区 写真⑤(北東から)

• 弾正丸石垣の立面写真

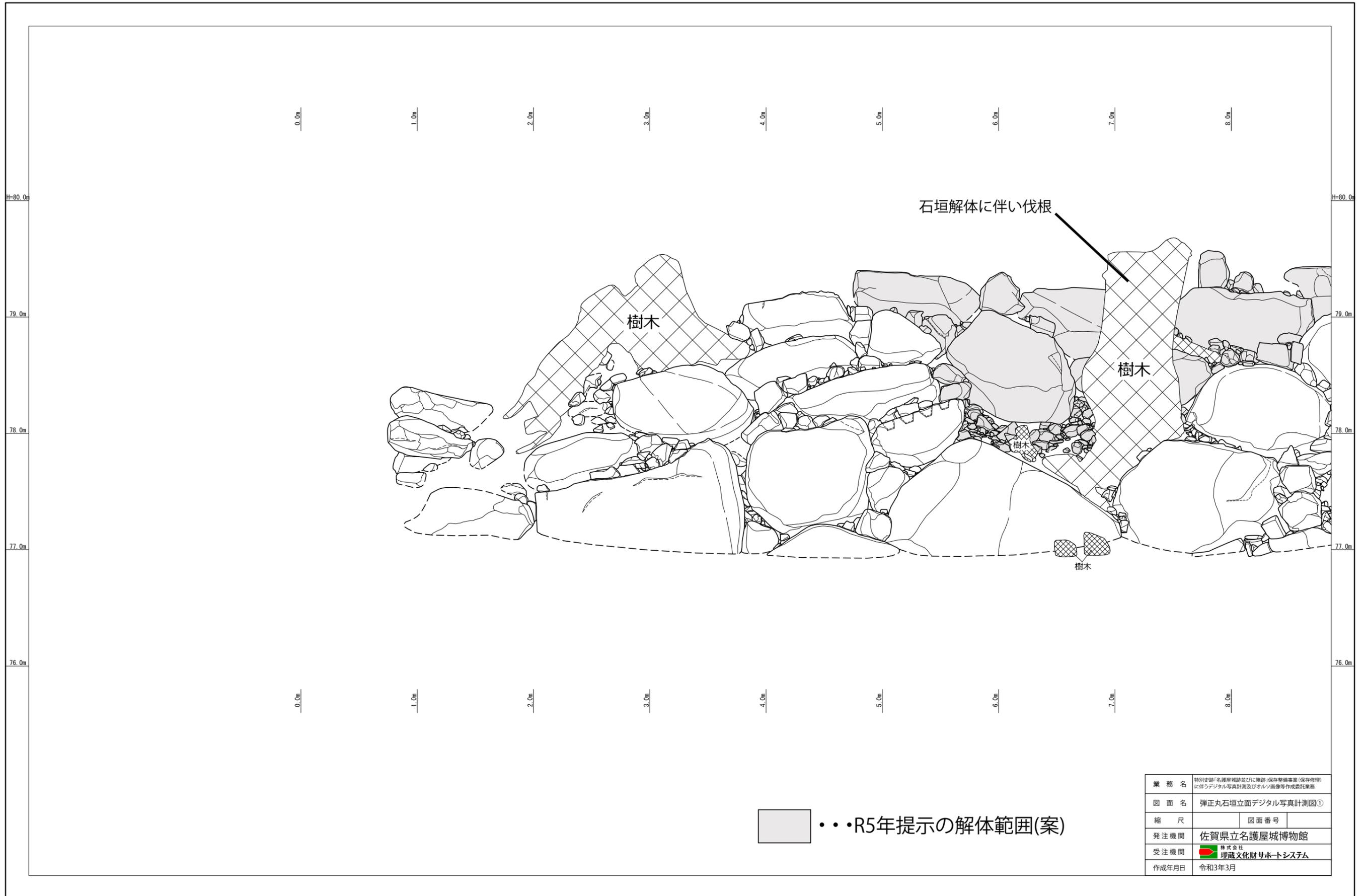


①弾正丸石垣 【発掘調査後】



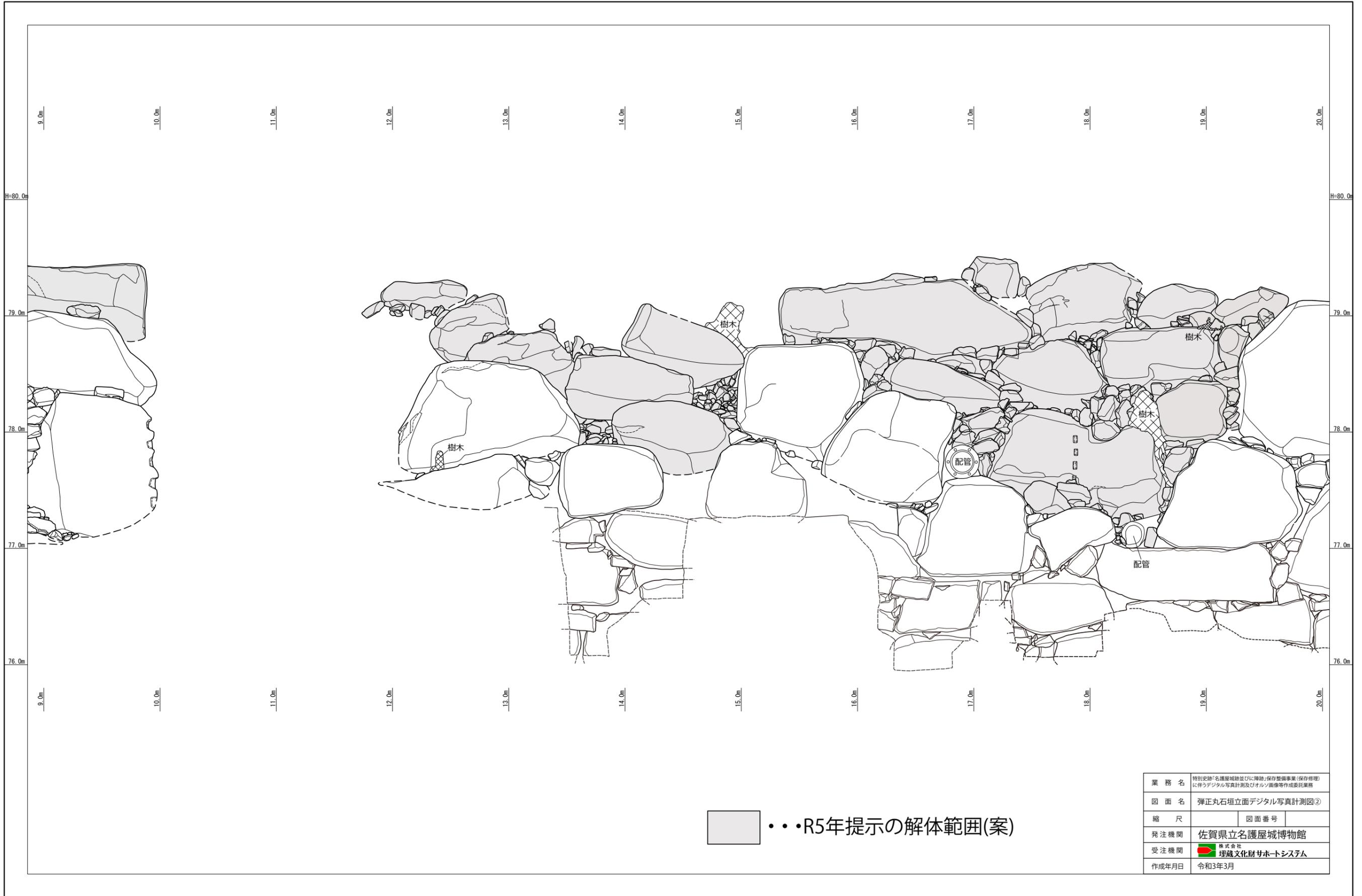
②弾正丸石垣 【発掘調査後】





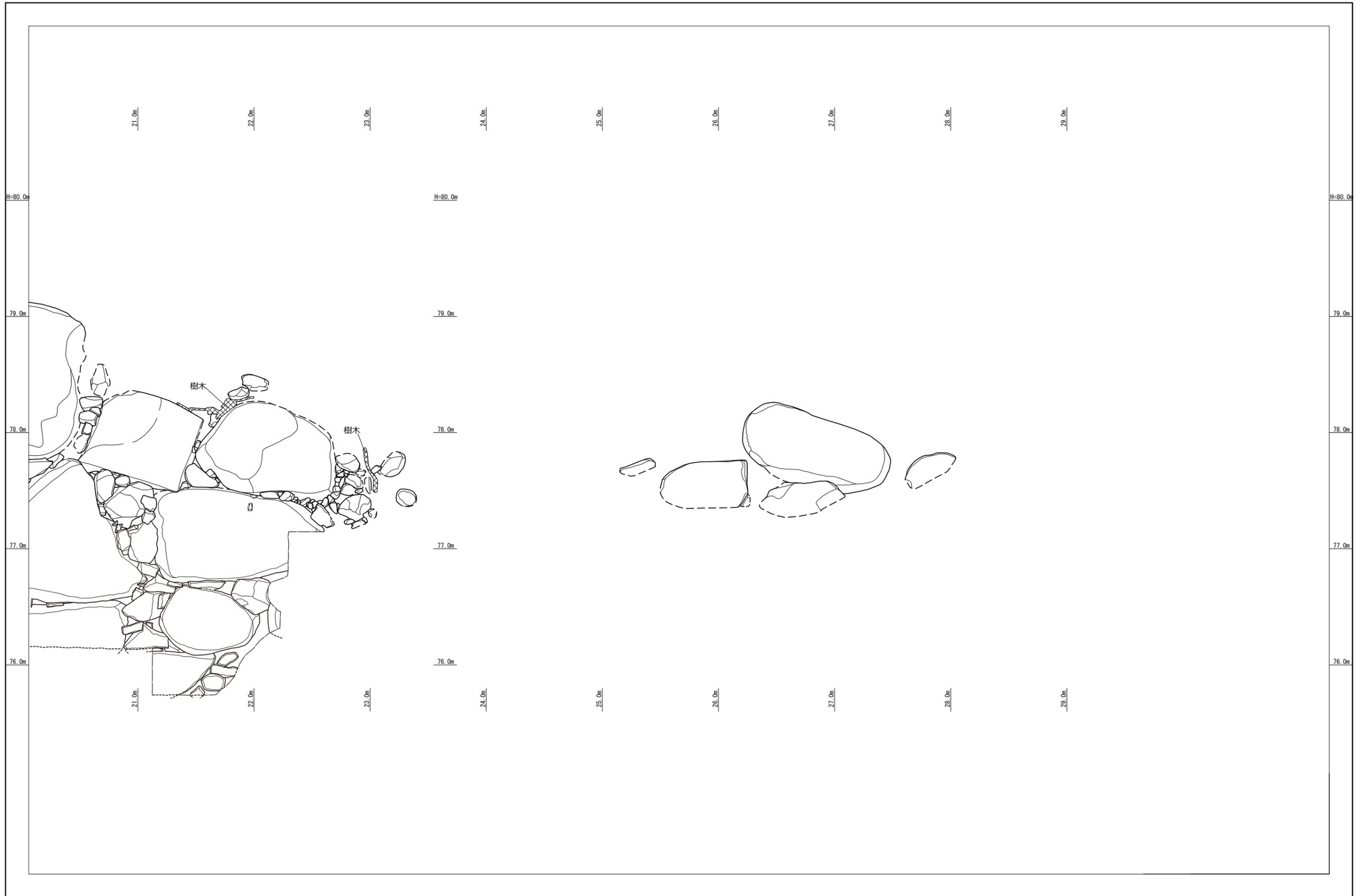
■■■■ R5年提示の解体範囲(案)

業務名	特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」保存整備事業（保存修理）に伴うデジタル写真計測及びオルソ画像等作成委託業務		
図面名	弾正丸石垣立面デジタル写真計測図①		
縮尺		図面番号	
発注機関	佐賀県立名護屋城博物館		
受注機関	株式会社 埋蔵文化財サポートシステム		
作成年月日	令和3年3月		



■■■■ R5年提示の解体範囲(案)

業務名	特別史跡「名護屋城跡及び」に隣接「保存整備事業（保存修理）」に伴うデジタル写真計測及びオルソ画像等作成委託業務	
図面名	弾正丸石垣立面デジタル写真計測図②	
縮尺		図面番号
発注機関	佐賀県立名護屋城博物館	
受注機関	株式会社 埋蔵文化財サポートシステム	
作成年月日	令和3年3月	



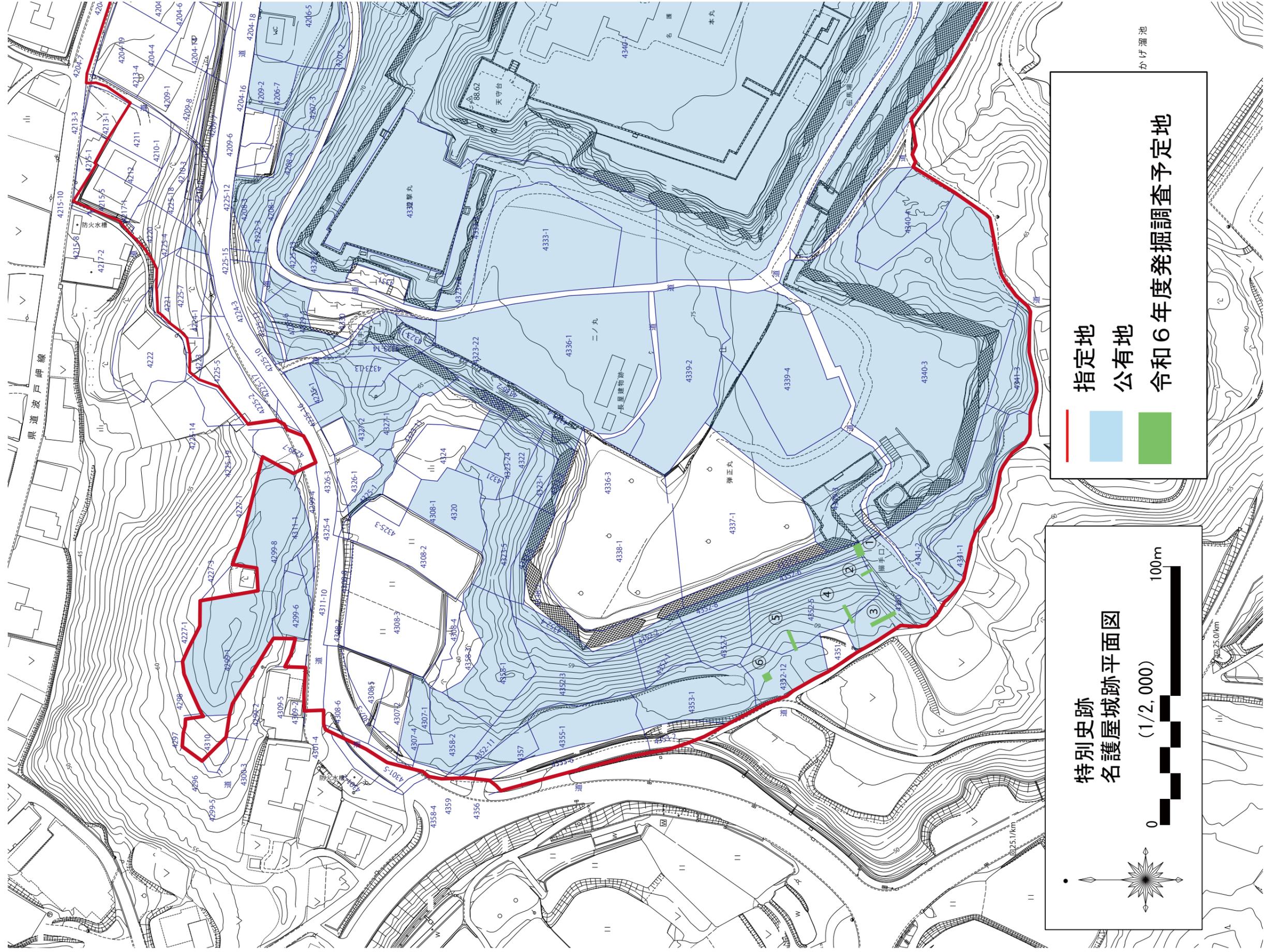
令和5・6年度発掘調査箇所(水手通路)



◆発掘調査(埋蔵)

名護屋城跡弾正丸下

令和6年度 発掘調査対象箇所 (弾正丸周辺)



特別史跡
名護屋城跡平面図

(1/2,000)

100m

指定地

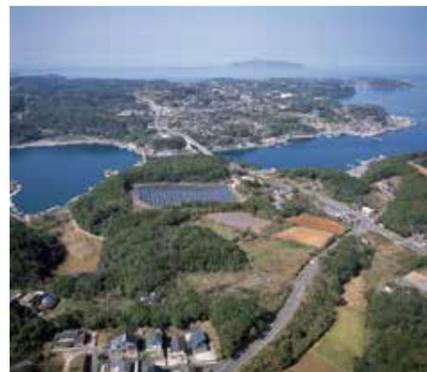
公有地

令和6年度発掘調査予定地

令和5年度黒田長政陣発掘調査実施箇所



黒田長政陣跡空撮（上が西）



黒田長政陣跡空撮（南東から）



第①調査区 全景（南西から）



第①調査区 礫散布状況（北西から）



第①調査区 飛石状遺構検出状況（北西から）



第②調査区 全景（南西から）



第②調査区 集礫遺構検出状況（南西から）



第③調査区 全景（北東から）



第④調査区 全景（南東から）



第⑤調査区 全景（南東から）

◆前田利家陣跡整備事業(原子力共生交付金)

前田利家陣跡

事業主体 佐賀県
 事業実施年度 令和6年度～10年度(5年間)
 事業実施範囲 前田利家陣跡(丘陵裾部：居館跡周辺) 約0.6㌥
 主な事業内容 現況地形測量、発掘調査※、整備工事(基本設計・実施設計・積算・施工)
 ※既往調査(平成12～19年度)の補足的な調査を実施予定
 主な整備内容 発掘調査成果に基づいた遺構の平面表示、園路整備、VR作成
 その他 原子力発電施設立地地域共生交付金を活用

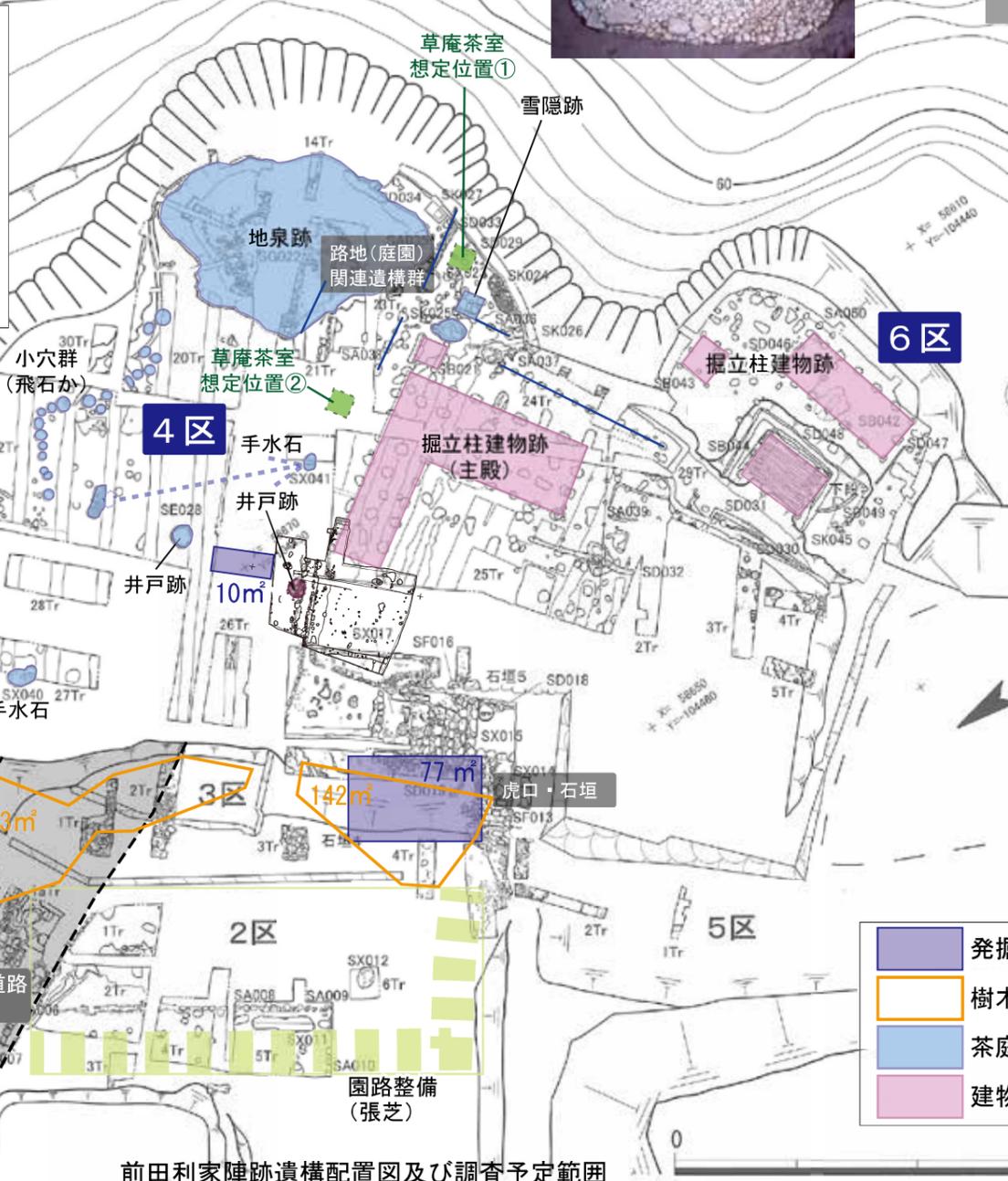
■事業計画

年度	令和6(2024)	令和7(2025)	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
測量等	現況地形測量 用地測量				
調査等	発掘調査				報告書作成
整備	基本設計	実施設計 積算業務委託	整備工事 VR制作		

整備計画

整備工事

- 保存整備委員会、文化庁、有識者による指導・助言
- 発掘調査・整備報告書の作成・刊行



- 発掘調査予定範囲
- 樹木伐採範囲
- 茶庭・露地関係遺構
- 建物関連遺構



前田利家陣跡の位置及び周辺(上が北)



北面石垣部分伐採後(北からみる) 樹形虎口部分伐採後(南からみる)



1 Trトレンチ設定箇所



上段トレンチ 現況(北東から)



下段トレンチ 現況(西から)



虎口全景(北から)



虎口全景(西から)



虎口石階段(北から)



虎口石階段(東から)